

## 横浜市大同窓会事業報告(2022年4月～2023年3月)

横浜市大同窓会(YCU REUNION)は ①同窓会交流促進 ②市大・学生との連携・支援 ③地域・SDGsへの貢献の3本柱での事業を基に、横浜市大創立100周年に向け、会員相互、大学、学生等との連携を大切にしながら事業を進めています。

### ■1. 市大同窓生の交流促進

YCU REUNION SDGs オンラインセミナーを月に1度開催、3月にはシンポジウムを開催しました。以下の活動はすべて進交会 HP「横浜市大同窓会」のページにアーカイブス保存、または報告書を掲載しています。

#### □1-1 総会の開催



令和4年度横浜市大同窓会総会 2022

6月18日(土)進交会館3F 会議室

2021年度事業報告と決算報告、監査報告

2022年度事業計画書案と予算案が承認されました。

講師:横浜市大名誉教授 永岑三千輝先生  
 テーマ:『アウシュビッツへの道 ホロコーストはなぜ、いつから、どこで、どのように』—ロシア・プーチン政権のウクライナ侵略戦争との共通性と異質性を考える—(横浜市大新叢書 2022.03 刊を素材に)

#### □1-2 YCU REUNION SDGs オンラインセミナーの開催

4月26日:伊藤泉美さん 横浜ユーラシア文化館 副館長 (横市大1985年文卒)

「横浜中華街 160年の軌跡」

5月14日:田辺一邑 講談師 (横市大1984年文卒)

「ようこそ講談の世界へ」

6月28日:松本卓也さん(横市大2014年国総卒)、服部諒(4年休学中)さん

「現役生と卒業生が目指す豊かさの指標とは～福島県田村市での実践～」

7月12日:永岑三千輝先生(横浜市立大学名誉教授)

『アウシュビッツへの道』から読み解くヒトラーとプーチンの共通性と差異性」

9月27日:南 翔子さん インド古典舞踊家 (横市大 2015年文卒)

「南インド舞踊から垣間見るインド文化」

10月18日:飯田峰子さん 横浜ひらがな商店街 West アベニュー会長、(一社)横浜まちクリエイティブ理事(横市大2002年商卒)

## 「起業&子育て、まちづくりに挑戦中！」

11月22日:野口理佐子さん(一財)CW ニコル・アフアの森財団 専務理事)

「森から日本の未来を考える～C.W.ニコルが遺した日本の未来～」

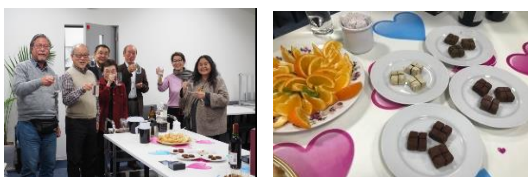
12月13日:小島芳実さん(横浜市大 1984 年文卒) GLOBE CEO、絵本作家、作詞家、

「“超新星のように輝いて弾んで 命を燃やしていこう”」

1月17日:村田 千尋さん(株)Color Your Life 代表 (横浜市大 2009 国総卒)

「ライフキャリアを考える～自分らしく起業するためのこれまで～」

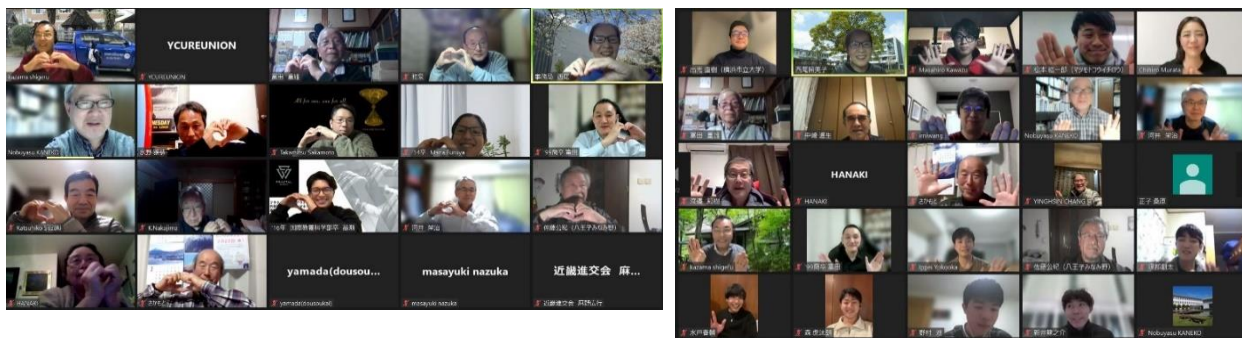
→ 起業支援の「ナイトカカオチョコパーティ」をみなと倶楽部で開催



卒業生の事前購入申込でバレンタインデーには売り切れました。

2月14日:風間 茂さん さくらプロジェクト日本事務局代表 (横浜市大1974商卒)

「タイ山岳民族の子どもたちとともに 30 余年～さくらプロジェクト活動の軌跡～」



## □1-2 YCU REUNION SDGsシンポ2023の開催

3月11日(土)14:00～16:00 @横浜市大みなとみらいサテライトキャンパス

「”子ども世代”に必要なことはなんだろう?～地域から応援できること～」

キーノートスピーチ:「子どもはどこから来て、どこへ行くの?」

〔講師〕 キーノートスピーチ/コーディネーター: 森田 明彦 氏

(株)グローバルリーダーシップ教育研究所代表取締役。外交官、

国連職員、国際NGOディレクター、大学教員を歴任。

主著『世界人権論序説』(藤原書店、2017年)。博士(学術)。

名誉教授(尚絅学院大学)。

〔パネリスト〕(敬称略)

・前田 憲人・光山 瑞穂 one by ONE 代表  
〈横浜市大医学部医学科6年〉

・橋本 みなみ 認定 NPO 法人ミニシティプラス理事  
〈横浜市大国際教養学部2年〉



・丸山 真澄 任意団体 みんなの放課後クラブ代表

〈横浜市大 2002 年国際文化学部卒〉

・宮城県女川町の若者たち「女川 1000 年後のいのちを守る会」の4人の若者たち（オンライン参加）

⇒女川町の中学生が修学旅行で横市大を訪問(4月26日)、橋本みなみさんがキャンパスを案内。



### □1-3 同窓生のキャンパスツアー(八景キャンパス)



S47 年卒弓道部第 10 期の皆さん

偶然現れた学生さんに部室までご案内いただきました。

なんと、彼らが始めた部誌の創刊号「赤シャツ」を発見！



S48 年卒商 英語 A クラスの皆さん

### □1-4 浜大祭 2022.11.06 企画

#### (1)横市大同窓会“第72回浜大祭提供企画”

“World Yo-Yo Champion SHU TAKADA 驚愕のパフォーマンス”

13:20~13:50 @カメラアホール

SHU TAKADA =本名:高田柊さん

(2021 年卒)

司会: 飯田 峰子さん(2002年卒)

懐かしのカメラアホールで 150 人

ほどが楽しみました！





左5人：ボランティア支援室を通して依頼、手伝ってくれた学生さん。  
右：同窓会ボラの皆さま。お疲れさまでした！

## (2)ホームカミングデー(横浜市大主催)

・相続・遺贈セミナー

・アントレプレナーシップ(親子でワークショップ)講師:柿木結允さん(横市大 2017年卒)

## (3)“3年ぶりに集まろう！”横浜市大同窓交流会



### 【1部】

講話:「横浜市大の源流はどこに？」

講師:横市大名誉教授  
齊藤毅憲先生

真剣に聴き、学びました。



元水泳部大先輩齋藤孝雄さん(S31年商卒)に元気をいただきました！

### 【2部】

横市大同窓交流会

小山内理事長や台湾支部の王さんも最後まで参加。  
混声合唱団の学生さんたちも美しい声で校歌を熱唱していただきました。

## □1-5 「海洋都市横浜うみ博2022」

「8月6日(土)および8月7日(日)、横浜市役所アトリウムをメイン会場として開催された「海洋都市横浜うみ博2022」(来場者約17,000名)に、学術院 国際総合科学群 海洋総合研究ユニットとして、①糖鎖生物学研究室、②横浜市立大学同窓会、③学生団体「TEHs」(テフズ)、④学生団体「科学倶楽部」の4団体が合同で横浜市立大ブースを出展しました。」(横市大 HP より)

### 横市大同窓会自主活動:

- ・遊んで学ぼう:SDGsかるた、SDGsすごろく、お絵かきうちわ、ココロレーシングサーキット
- ・展示:地球の映像と和と洋の音楽で未来の地球を考えよう! SeraCriationsの動画再生
- ・TEHs 応援:サステナブルシーフード(サスシー)ちくわ(アイスコ協力)を販売
- ・おまけ:サッポロビール生! お持ち帰りのプレゼントお菓子を用意



←うみ博チラシ(ポラ)

開始前の意気込み! →  
進交会館にはのぼり↓



面処おおぎの協力でワ  
ンコイン・サスシーうどん



↑役に立った環境教材ワークシート(2021年3月制作)



横市大教職員の皆さんと「お疲れさま〜!」

## ■2. 大学・学生との連携・支援

### □2-1 キャンパス内交流拠点の運営

八景キャンパス内にある同窓会と大学との連携スペースを月8回程度、大学のゲスト wifi を使用し、同窓生への情報発信、大学・学生との連携に活用。



### □2-2 海洋都市横浜うみ博 2022

横浜市大糖鎖生物研究室、横浜市大同窓会、学生団体 TEHs、学生団体 科学倶楽部の4団体がコラボ。

### □2-3 第72回 浜大祭

○都市学系鈴木ゼミによる文化祭展示に写真や記事情報の共有をおこないました。当日は多くの卒業生が訪問、見学しました。

○横市大同窓会“第72回浜大祭提供企画” 浜大祭実行委員会を支援・協力“World Yo-Yo Champion SHU TAKADA 驚愕のパフォーマンス”実施

○ホームカミングデーへの広報・参加の協力



### □2-4 YCU REUNION SDGs シンポ2023

○みなとみらいサテライトキャンパスをお借りし、技術支援、動画編集のご協力、またボランティア支援室のご協力をいただきました。

### □2-5 100周年事業関連

○卒業生小西氏から三枝博音(さいぐさひろと)先生の資料(額)と大学祭(1962年)記念の手拭いが寄贈され、大学広報課長・卒業生担当者氏と学生時代のお話。



三枝先生手彫り(ラテン語の文字 “Artes serviunt vitae, sapientia imperat”.

「もろもろの技術は生活に奉仕し、知恵は命令する」)の解説が茂手木元蔵先生によって書かれています。

○YCU100周年事業では学情との連携もあり、同窓生所有の資料や写真等の提供を呼びかけています。

○齋藤毅憲名誉教授の100周年に向けての講演会「横浜市立大学の変遷～Y校・Y専・横浜市大の関係～」@カメラホールに広報・参加の協力をしました。

### □2-6 その他

○大学「卒業生担当者」との情報共有(facebook)を行っています。

○2022年度進交会賞に協力しました。

○キャンパスガイドブック(新1年生全員に配布)に広告掲載で協力しました。

○卒業式会場に「新住所をおしえて」封筒を配置にご協力いただきました。(写真上)



### ■3. 地域・SDGsへの貢献—地域との連携—

#### □3-1 SDGsの推進:

実践活動としては毎月の海岸清掃を継続中です。



拾ったごみを仕分けし、数を数えて「海をつくる会」の記録担当者に報告。

ゴミの種類と数を計上し、ものによっては投棄したと思われるところに改善依頼を出している。

#### □3-2 YCU REUNION SDGs オンラインセミナー

セミナーは講師の活動の場が国内外と多岐にわたりました。SDGs 目標5「ジェンダー平等」を意識し実施。特に女性起業家の活躍には若者ならではの躍動を感じました。福島県田村市で地域に根差す活動を続ける学生さんのセミナーも興味深く考えさせられるものでした。

#### □3-3 YCU REUNION SDGs シンポ 2023

シンポジウム開催にあたり、横浜市男女共同参画推進協会や、子ども大学よこはま、神奈川新聞社などの後援をいただき、神奈川新聞には記事が掲載されました。

神奈川新聞 2023.3.15



### □3-4 市民団体との連携・協力

- ・NPO 法人海をつくる会
- ・NPO 法人こども大学よこはま
- ・神奈川県ユニセフ協会
- ・SeraCreations の活動  
(環境トーク&ミニコンサート、龍の森プロジェクト、  
チャリティーコンサート)広報・参加協力をしています。



### □3-5 他大学との連携

富丘会(横浜国大経済学部同窓会)や北九州大学同窓会と連携をはかり、情報共有を行っています。



富丘会の皆さんと互いの同窓会運営状況や活動などについて和気藹々と情報交換を行いました。

2023.1@進行会館2F

## ■4. 広報の強化

### □4-1 進交会報



進交会報 88号(横浜市大版)を発行しました。  
昨年度に続き、Y校版との分冊となり、読みやすく、分かりやすくなりました。

- ・文字を大きくしました
- ・写真を大きくしました
- ・手に取っていただけるようにカラフルにしました
- ・表紙に「進交会」(Y校同窓会・横浜市大同窓会)の成り立ちなどを解説しました  
(難しくなってきた点)
- ・チラシや振込用紙などを同封する際の扱いが郵便局との調整のハードルが高くなりました。

### □4-2 ホームページ

アクセス数の増加、新規の訪問者が毎月 40%をキープしており、さまざまな方からご覧いただいています。特に若い世代の方のアクセスが増えています。「横浜市大同窓会 最近の活動」のページでは、オンラインセミナーやシンポジウム、浜大祭などイベント前後は、訪問数が急増する傾向があります。



シンポジウム・セミナーYouTube 動画により、ライブ参加できない方もアーカイブでご覧いただけます。

YCU REUNIONSDGsシンポ2023

“子ども世代”に必要なことはなんだろう?～地域から応援できること～



3月11日(土) 14:00～16:00  
 横浜市大みなとみらいサテライトキャンパス(横浜ランドマークタワー7F)  
 タイトル:「子ども世代」に必要なことはなんだろう?～地域から応援できること～  
 講師・コーディネーター:森田 明彦氏

【第1部】 キーノートスピーチ

「子どもはどこから来て、どこへ向かうのか?」

講師: 森田 明彦氏

「地域社会は、ローカルにも開かれ、グローバルにも開かれ、ローカルにもグローバルにも繋がっていく力を持っている。」

「子どもには、グローバルにもローカルにも開いていく力がある。」

「子どもはどこから来て、どこへ向かうのか?」の問いに対する答えは、

「子どもは地域社会から来て、地域社会に向かう」

「子どもは地域社会を必要とし、地域社会は子どもを必要とする」でした。

2月YCU REUNION SDGsオンラインセミナー

タイ山岳民族の子どもたちとともに30余年～さくらプロジェクト活動の軌跡～



2月14日(火) 20:00～21:30  
 講師: 風間 茂氏  
 さくらプロジェクト日本事務局代表(横浜市昭49/1974商卒)

タイ北部チェンライ県の山岳少数民族の村の子どもたちが寮生活を、学校に通うための支援を行う「さくらプロジェクト」の日本事務局代表の風間茂さん。約30年間の活動を「創成期」「発展期」「成熟期」に分け、その経緯と成果、意味などについて大変わかり易く、賑々と楽しんで、ユーモアを交えながらお話いただきました。寮を運営するうえで移転問題など数回のピンチが訪れたとき、そこに支援者が現れたり、子どもの深刻な病気を機に基金を作ったりして解決されてきたというお話には「生きるとは」まで考えてしまいました。30周年記念事業「山岳民族ミュージアム開設プロジェクト」によって文化継承の分野にも活動が広がったとのこと。昔は山岳少数民族であることを隠していた村人も、タイが豊かになるにつれて、こうして貴重なものを守らなければならないというプロジェクトから、今では、山岳少数民族であることを誇りに思うようになってきたとのことでした。  
 ●完全ボランティアでの30年以上の活動は「楽しい、嬉しい、心地よい」という感覚に支えられているそうです。同期ゼミ仲間「死ぬまで続けるよ」と軽くおっしゃる背中には三輪代表

□4-3 facebook:

「横浜市大同窓会(公開 G)」メンバーであれば誰でも自由に投稿ができます。メンバーの数:1,050人超



シンガポールヨコイチ会  
3年ぶり開催のニュース

横浜市大同窓会 @ReunionYcu · Mar 24  
 横浜市立大学卒業式の日、八景キャンパスは卒業生の美しい姿に彩られました！ご卒業おめでとうございます。



3 7 1,588

□4-4 ツイッター

学生に情報が届きやすいツイッターでも発信を開始しました。

ツイッター情報を facebook にコピペして情報の共有をはかっています。(写真右)

□4-5 卒業生への依頼

卒業式に「新住所教えて」のレターには、新住所と共にメールアドレスの追記もお願いしています。